

福岡市の農林水産業及び中央卸売市場の概況



福岡市農林水産業・市場のシンボルマーク

「みのりん」

令和6年9月

福岡市農林水産局

－ 目次 －

1. 農業の概況

(1)	農家戸数、農業従事者数		P	1
(2)	農家の経営主の平均年齢		P	3
(3)	農地面積		P	3
(4)	耕作放棄地面積		P	3
(5)	生産量		P	4
(6)	生産額		P	4

2. 森林・林業の概況

(1)	規模別山林所有者数（令和2年）個人分		P	6
(2)	樹種別面積（令和2年）		P	6
(3)	樹齢別面積（令和2年）		P	6
(4)	荒廃森林整備面積の推移		P	6
(5)	森林経営に係る意向調査等		P	6
(6)	生産量・生産額		P	7
(7)	伐採面積		P	7
(8)	市公共施設整備における木材使用量		P	7

3. 水産業の概況

(1)	漁家戸数、漁業就業者数		P	8
(2)	漁業就業者の平均年齢		P	8
(3)	生産量		P	9
(4)	生産額		P	9

4. 中央卸売市場の概況

(1)	鮮魚市場		P	11
(2)	青果市場		P	12
(3)	食肉市場		P	13

【参 考】

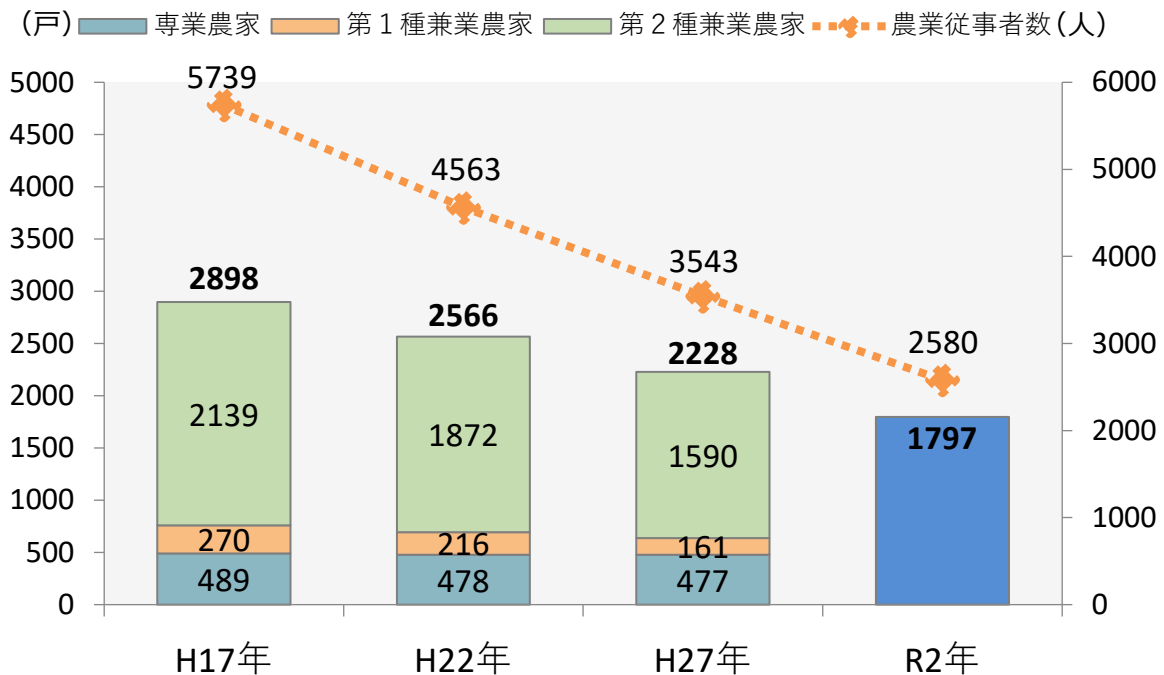
(1)	専業農家の一戸あたりの平均農業所得		P	14
(2)	沿岸漁業の一戸あたりの平均漁労所得		P	14

※資料中のグラフ、表については、単位未満四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。

1. 農業の概況

- 令和2年の農業従事者数は2,580人、農家戸数は1,797戸で依然として減少傾向が続いている。
- 令和2年の個人経営体数は1,014経営体で、前回平成27年調査時の約8割に減少。
- 生産量、生産額（対前年度比14.9%）ともに減少している。

（1）農家戸数、農業従事者数



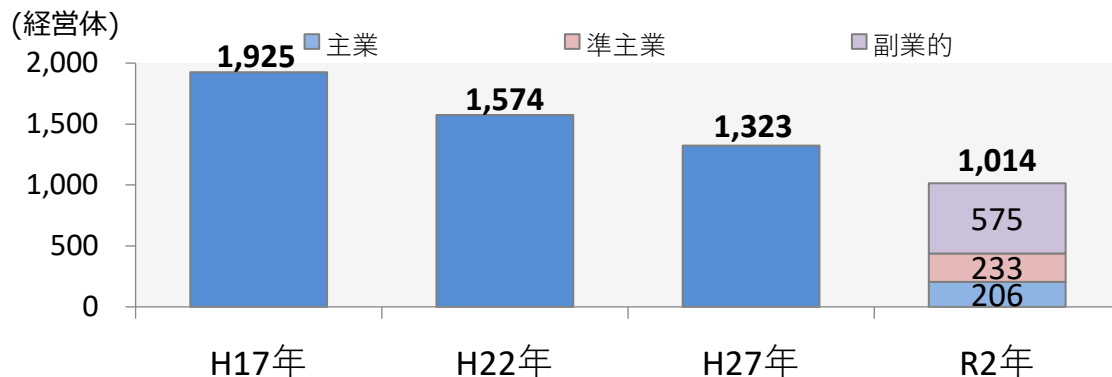
資料：農林業センサス

※第2種兼業農家には自給的農家を含む。

※R2年：国の農林業センサス(2020)の調査項目変更により、専兼別の内訳不明であるため、参考として、下記（1）-1にて農業経営体の主副業別の内訳を示す。

※各年2月1日時点

（1）- 1 主副業別農業経営体数（個人経営体）



※主業経営体：農業所得が主（世帯所得の50%以上が農業所得）で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体

※準主業経営体：農外所得が主（世帯所得の50%未満が農業所得）で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体

※副業的経営体：1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない農家（主業経営体及び準主業経営体以外の個人経営体）

※農林業センサス(2020)より、経営体の主副業別の調査が実施されているため、平成27年以前は経営体の総数のみ表示

【参考】農家戸数と農業経営体について

2020年農林業センサスから農家戸数における専業農家・兼業農家の区分が廃止され、農業経営体数における主副業の区分に変更されている。

○用語の定義

用 語	定 義
農家	経営耕地面積が10 a 以上の農業を営む世帯又は農産物販売金額が年間15万円以上ある世帯
専業農家	経営耕地面積30 a 以上又は農産物販売金額が年間50万円以上の農家（販売農家）のうち、世帯員の中に兼業従事者が1人もいない農家
第1種兼業農家	世帯員の中に兼業従事者が1人以上いる販売農家（兼業農家）のうち、農業所得の方が兼業所得よりも多い農家
第2種兼業農家	兼業農家のうち、兼業所得の方が農業所得よりも多い兼業農家
自給的農家	経営耕地面積が30 a 未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家
農業経営体 （個人経営体）	農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、①経営耕地面積が30 a 以上、②農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数等、一定の外形基準以上の規模（露地野菜15 a、施設野菜350㎡、搾乳牛1頭等）、③農作業の受託を実施、のいずれかに該当するもの。そのうち、個人（世帯）で事業を行う経営体を個人経営体という。
主業経営体	農業所得が主（世帯所得の50%以上が農業所得）で1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体
準主業経営体	農外所得が主（世帯所得の50%未満が農業所得）で1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体
副業的経営体	1年間に自営農業に60日以上従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体

○農家と農業経営体の対応関係のイメージ

農家	専業農家	第1種 兼業農家	第2種兼業農家 (自給的農家を含む)
農業 経営 体	主業経営体		農業経営体に該当しない農家 (自給的農家等)
	副業的経営体		

※農家と農業経営体は定義が異なるため、上記の対応関係は厳密ではない。

(2) 農家の経営主の平均年齢

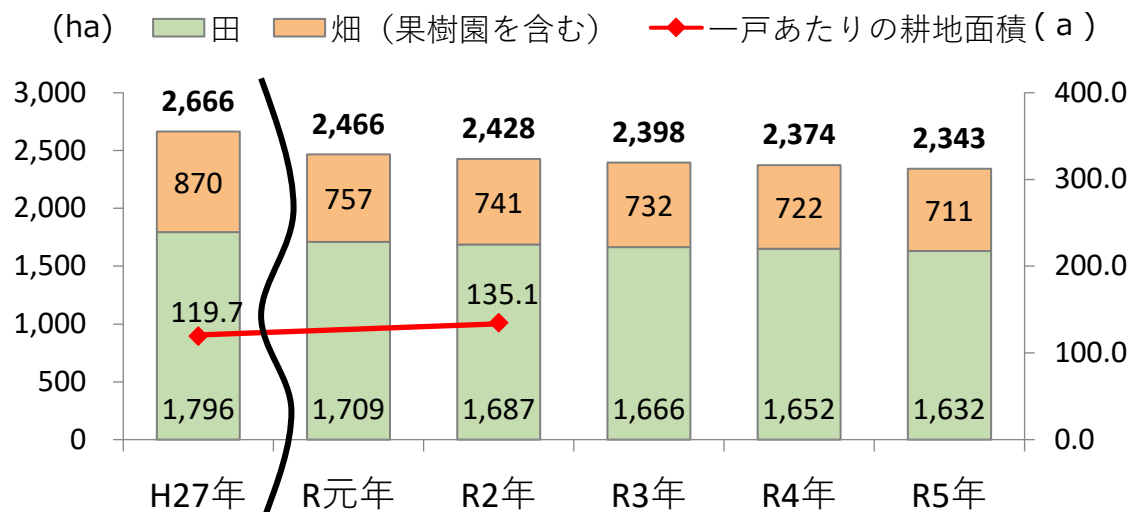
(単位：歳)

区 分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
経営主の平均年齢	72.1	72.6	72.9	73.3	73.7
専業農家	64.8	65.2	64.9	65.3	65.0
第1種兼業農家	70.4	70.1	70.5	70.9	71.3
第2種兼業農家	73.0	73.4	73.7	74.1	74.5

資料：福岡市農協 「組合員実態調査のまとめ」

※各年8月1日時点

(3) 農地面積



資料：福岡市農林水産統計書

※各年1月1日時点

(4) 耕作放棄地面積

(単位：ha)

区 分	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
耕作放棄地面積	339	338	328	317	321
農地面積に対する割合	13.7%	13.9%	13.7%	13.4%	13.7%

資料：農業振興課、農業委員会

※各年11月末時点

<参考>

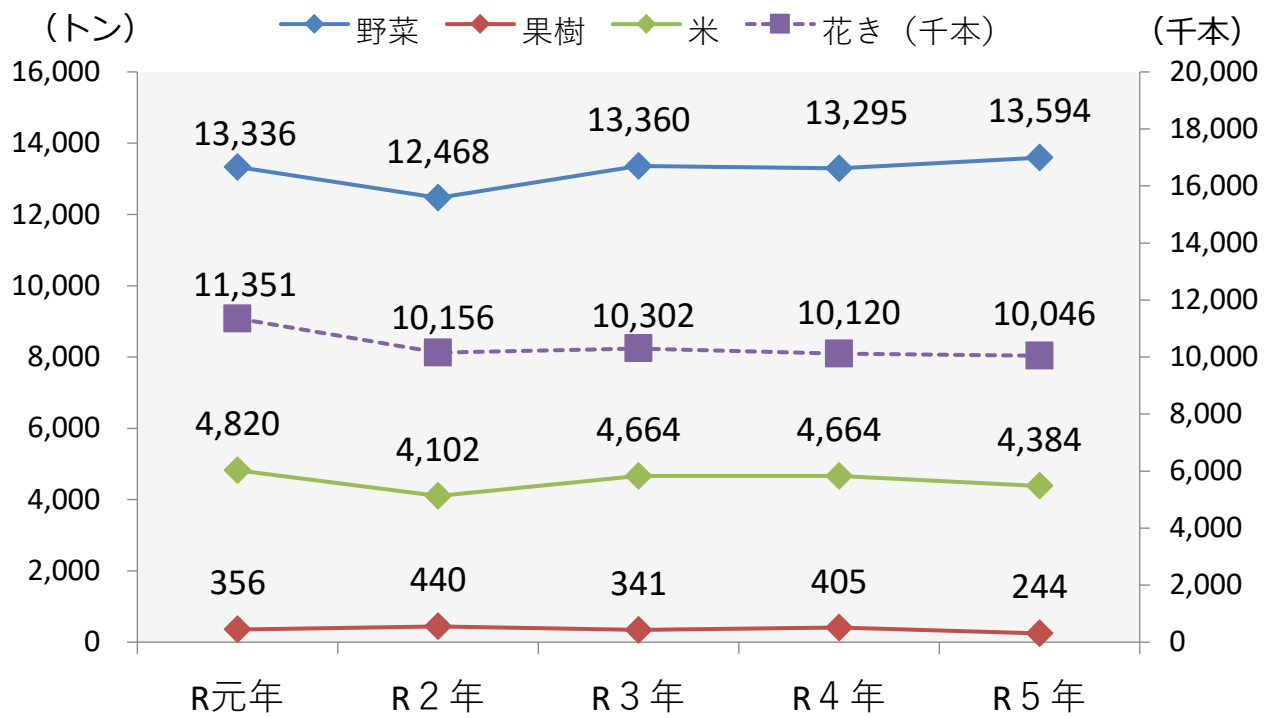
○耕作放棄地面積地区別内訳

(単位：ha)

耕作放棄 地面積 321ha	市街化区域を 主とする地域	市街化調整区域 を主とする地域	志賀	席田	入部	脇山	内野	金武	能古	今宿	今津	周船寺	元岡	北崎
	18	303	24	4	3	12	16	5	16	3	22	7	16	175

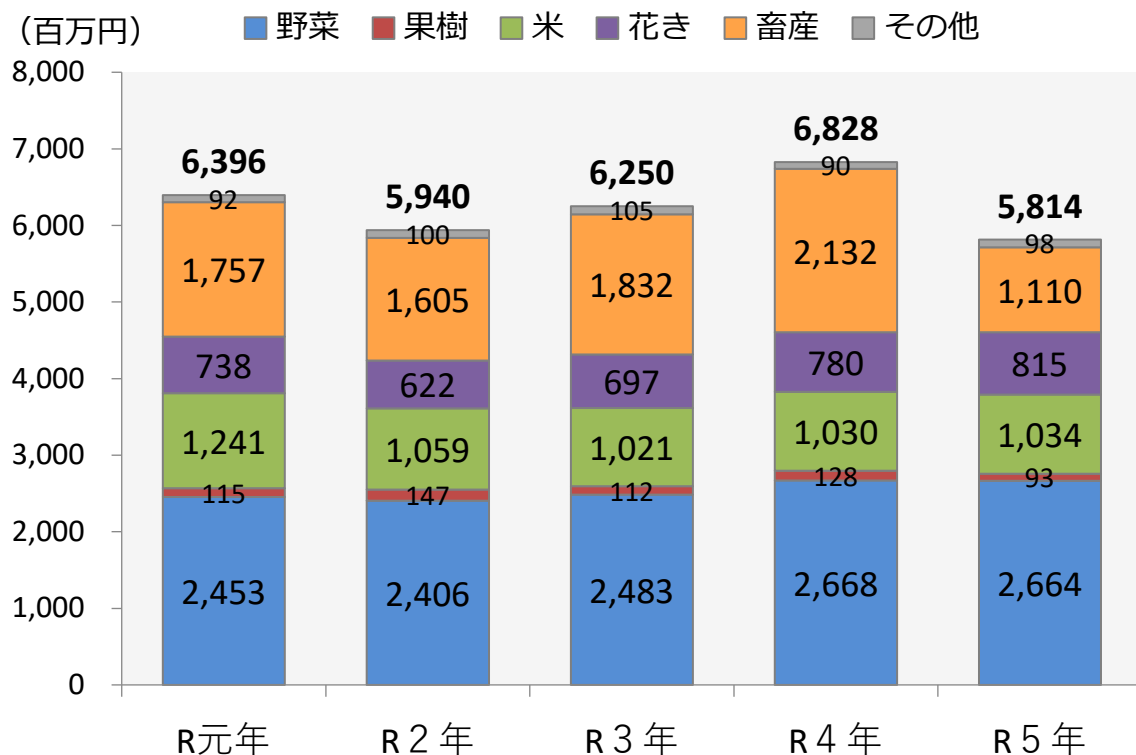
※令和5年11月時点

(5) 生産量



※ R5年は速報

(6) 生産額



※ R5年は速報

野菜、果樹、花きについては、卸売市場（市内及び市外）での取扱数量・金額を基に、各年の国産青果物の卸売市場経由率（75～80%）から算定したもので、加工、自家消費等は含まない。ただし、米については、需給調整による作付面積（実績値）を基に、生産量については単位面積あたりの収量を乗じて算定し、生産額については当該生産量に販売単価を乗じて算定したもので、自家消費等を含む。

＜野菜・花きの主な品目毎の推移＞

区 分		R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	前年比
野菜	生産量(トン)	13,336	12,468	13,360	13,295	13,594	102.2%
	生産額(百万円)	2,453	2,406	2,483	2,668	2,664	99.9%
	だいこん	6,120	5,720	6,067	6,308	6,519	103.3%
		234	232	293	383	363	94.8%
	トマト	1,605	1,517	1,464	1,586	1,502	94.7%
		468	447	430	469	476	101.5%
	キャベツ	1,166	1,218	1,447	1,353	1,302	96.2%
		69	81	97	113	109	96.5%
	かぶ	1,355	1,187	1,327	1,058	1,152	108.9%
		96	81	92	90	103	114.4%
	いちご	525	492	485	507	478	94.3%
		641	642	657	684	629	92.0%
花き	生産量(千本)	587	652	617	624	578	92.6%
		378	389	376	382	387	101.3%
	その他	1,978	1,682	1,952	1,859	2,063	111.0%
		567	534	539	547	597	109.1%
	生産量(千本)	11,351	10,156	10,302	10,120	10,046	99.3%
	生産額(百万円)	738	622	697	780	815	104.5%
	バラ	3,794	3,434	3,593	3,654	3,721	101.8%
		310	248	309	356	376	105.6%
	ストック	1,859	1,829	1,666	1,832	1,698	92.7%
		120	104	98	118	127	107.6%
	ガーベラ	840	661	724	787	896	113.9%
		15	11	14	18	25	138.9%
	トルコギキョウ	689	652	674	674	622	92.3%
		44	54	51	54	60	111.1%
	菊	886	830	850	688	567	82.4%
		40	38	35	35	33	94.3%
	その他	3,283	2,750	2,795	2,485	2,542	102.3%
		209	167	189	199	194	97.5%

※ R 5 年は速報

野菜	R 5 年 生産量上位 5 品目	(1) だいこん (2) トマト (3) キャベツ (4) かぶ (5) すいか
	R 5 年 生産額上位 5 品目	(1) いちご (2) トマト (3) しゅんぎく (4) だいこん (5) すいか
花き	R 5 年 生産量上位 3 品目	(1) バラ (2) スtock (3) ガーベラ
	R 5 年 生産額上位 3 品目	(1) バラ (2) スtock (3) トルコギキョウ

2. 森林・林業の概況

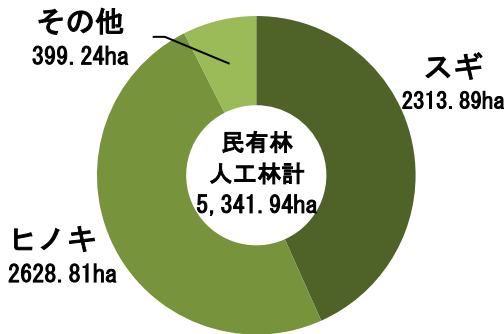
- 山林所有者の約98%が5ha未満と所有規模が零細である。
- 民有林の人工林のうち、約8割が木材として利用可能時期を迎えている。
- 森林経営管理制度に基づく森林の適切な管理を促すため、所有者への意向調査や境界の明確化を進めている。
- 公共施設での地域産材の利用を促進するため、森林組合協力のもと、市有林の木材をストック・供給する取組みを実施している。

(1) 規模別山林所有者数（令和2年）個人分

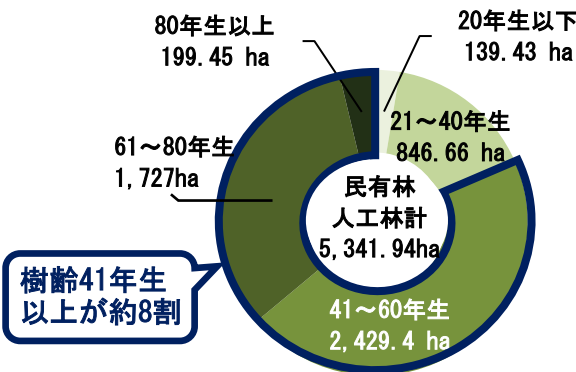
区分	総数	1ha未満	1以上-5未満	5以上-10未満	10以上-50未満	50ha以上
所有者数（人）	5,469	4,453	910	85	21	－
割合（％）	100	81.4	16.6	1.6	0.4	－

資料：福岡県「福岡地域森林計画書」（福岡市分）

(2) 樹種別面積（令和2年）

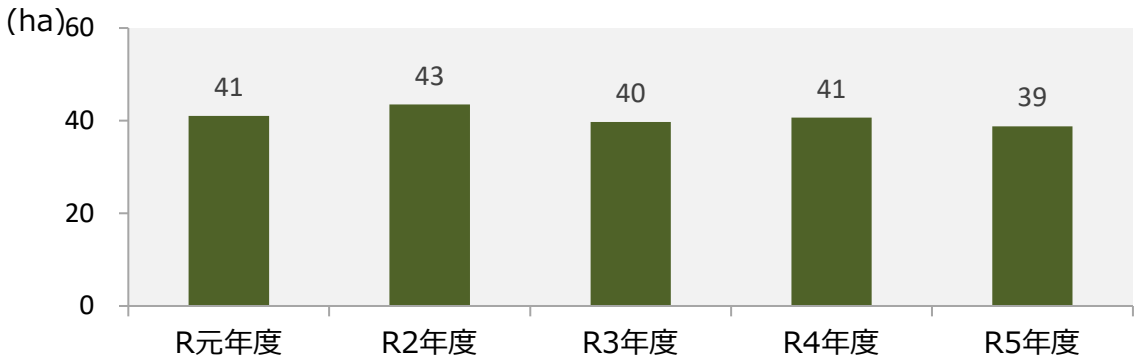


(3) 樹齢別面積（令和2年）



資料：福岡県「福岡地域森林計画書」（福岡市分）

(4) 荒廃森林整備面積の推移



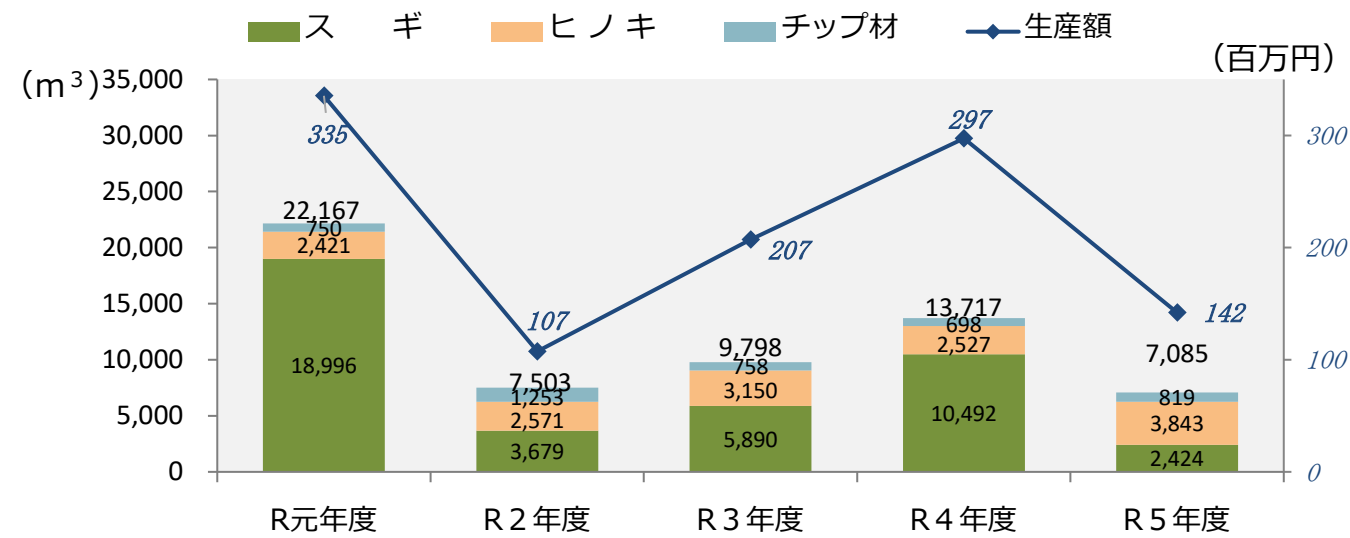
- ※ 荒廃森林整備事業の対象となる森林面積：2,587ha（令和5年度末）
- ※ 平成20年度から平成30年度までに1217ha実施済み

(5) 森林経営に係る意向調査等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
意向調査（ha）	110	146	197	378
境界明確化（ha）	—	21	83	96

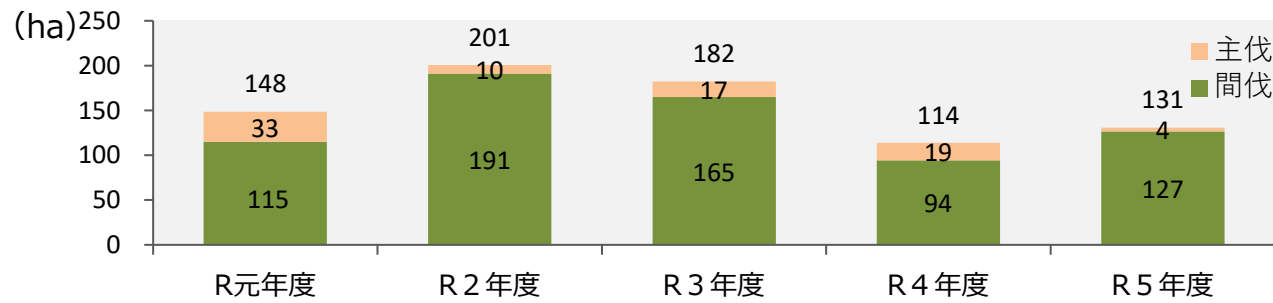
※ 境界明確化は令和3年度より実施

(6) 生産量・生産額



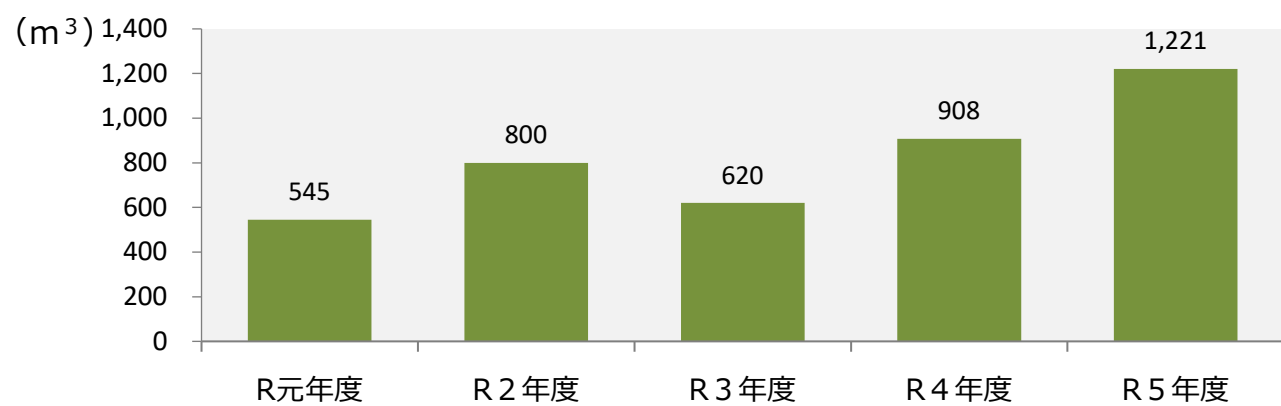
資料：福岡市農林水産統計書

(7) 伐採面積



資料：福岡市農林水産統計書

(8) 市公共施設整備における木材使用量

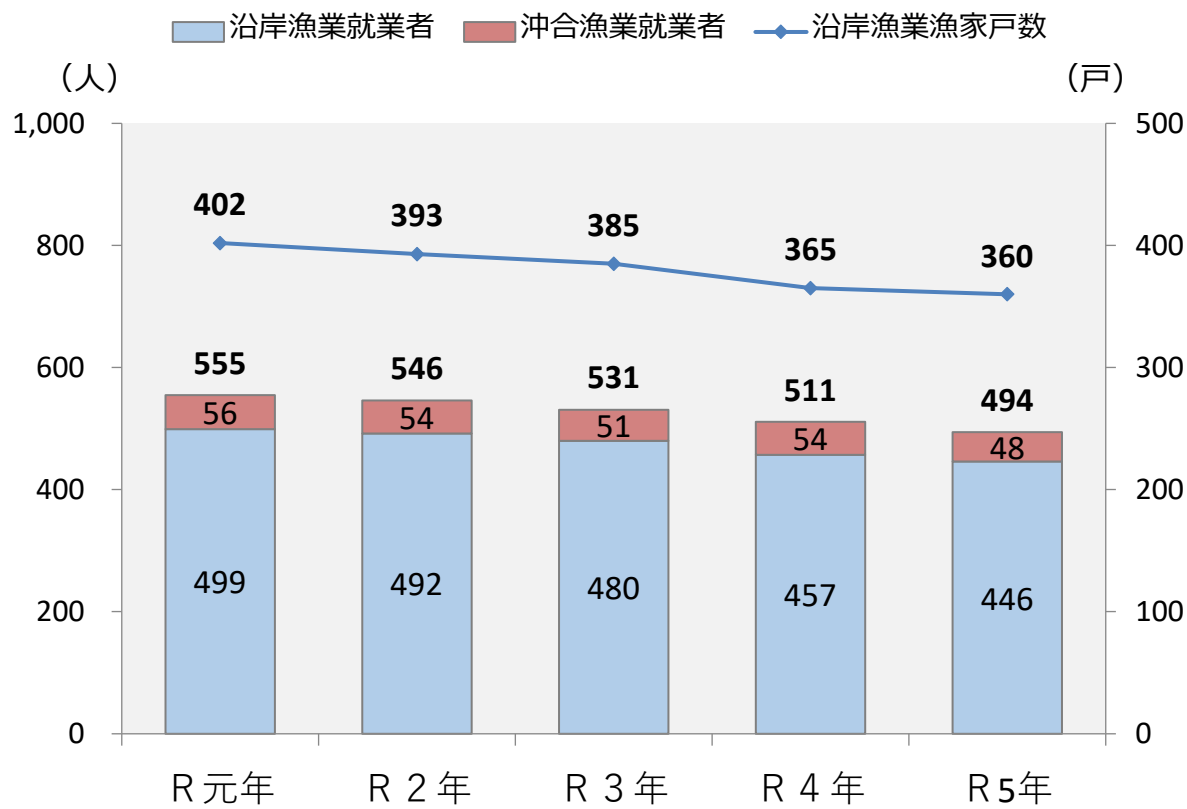


区分	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度
木材使用量(m³)	545	800	620	908	1,221
うち地域産材 (県産材含む)	12	31	39	122	199
主な使用施設	・小中学校 (賀茂小他) ・公民館 (田村他) ・市営住宅 (杵岐他)	・鮮魚市場会館 ・小中学校 (今宿小他) ・市営住宅 (城浜他)	・区役所 (早良、中央) ・早良南地域 交流センター ・小中学校 (周船寺小他) ・市営住宅 (弥永他)	・区役所 (東、南、城南、早 良) ・小中学校 (西都北小他) ・公民館 (飯倉中央他) ・市営住宅 (下山門他)	・区役所 (東、中央、西部 出張所) ・小中学校 (春住小他) ・公民館 (西都北公民館 他) ・市営住宅 (城浜他) ・ABURAYAMA FUKUOKA

3. 水産業の概況

- 漁家戸数（対前年比1.4%減）、漁業就業者数（対前年比3.3%減）ともに減少している。
- 生産量は、沿岸漁業（対前年比12.3%減）、沖合漁業（対前年比24.1%増）となっており、全体は増加（対前年比9.8%増）、生産額は、沿岸漁業（対前年比11.3%増）、沖合漁業（対前年比43.5%増）となっており、全体は増加（対前年比21.4%増）している。

（1）漁家戸数、漁業就業者数



資料：福岡市農林水産統計書
※各年12月末時点

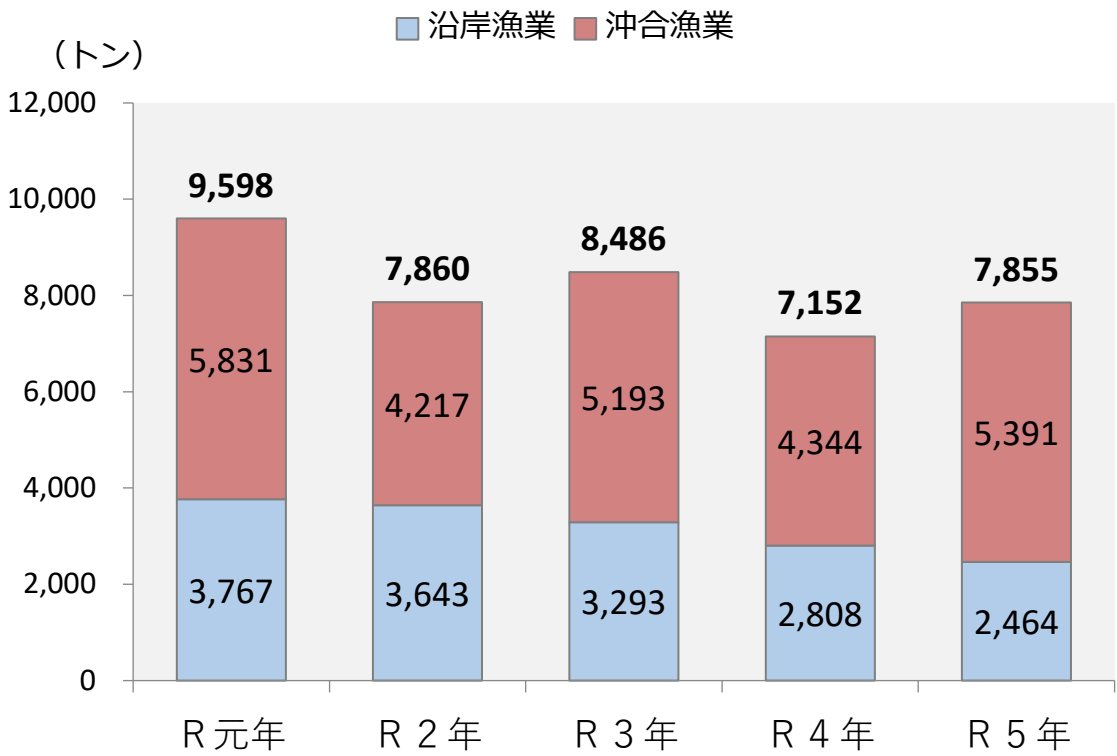
（2）漁業就業者の平均年齢

(単位：歳)

区 分	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
就業者の平均年齢（沿岸）	59.9	60.2	60.6	60.9	61.0

資料：漁家調査
※各年12月末時点

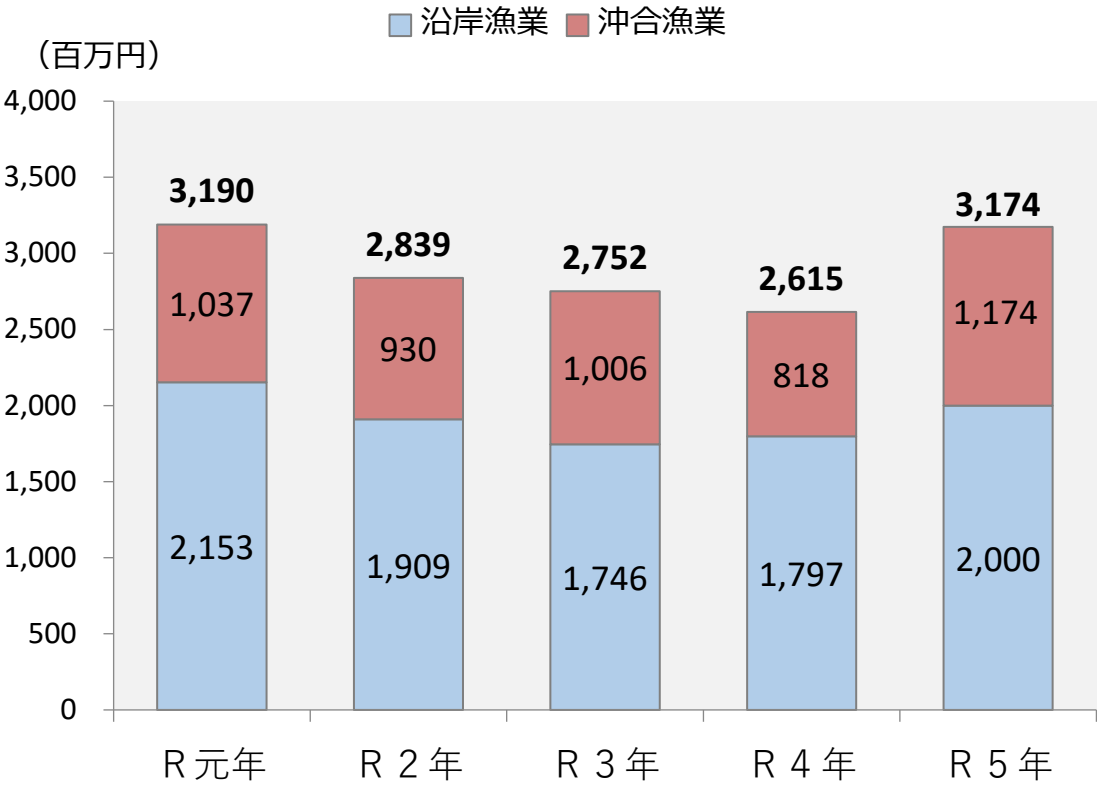
(3) 生産量



資料：福岡市農林水産統計書

※ R 5 年は速報

(4) 生産額



資料：福岡市農林水産統計書

※ R 5 年は速報

＜主な魚種別生産量の推移＞

区 分		R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	前年比	
①② 計	生産量（トン）	3,767	3,643	3,293	2,808	2,464	87.7%	
	生産額（百万円）	2,153	1,909	1,746	1,797	2,000	111.3%	
① 沿 岸 漁 業	生産量（トン）		3,525	3,366	3,105	2,572	2,299	89.4%
	生産額（百万円）		2,020	1,738	1,610	1,677	1,824	108.8%
	湾 内 漁 業	コノシロ	185	265	177	123	67	54.5%
			30	44	29	21	19	90.5%
		タチウオ	18	48	64	68	79	116.2%
			20	36	61	63	107	169.8%
		スズキ	77	86	61	75	59	78.7%
			48	36	34	49	45	91.8%
	湾 外 漁 業	タイ	690	682	476	443	435	98.2%
			452	378	244	250	274	109.6%
		ブリ	457	416	551	307	378	123.1%
			189	153	166	130	185	142.3%
		カワハギ	452	243	126	107	82	76.6%
			143	105	62	56	61	108.9%
		サワラ	161	209	172	198	137	69.2%
			139	169	150	226	220	97.3%
		ヒラメ	87	73	98	52	82	157.7%
			100	68	88	64	93	145.3%
		その他	1,398	1,344	1,380	1,199	980	81.7%
			899	749	776	818	820	100.2%
② 養 殖 業	生産量（トン）		242	277	188	236	165	69.9%
	生産額（百万円）		133	171	136	120	176	146.7%
	ノリ 注1	148	138	106	159	111	69.8%	
		85	95	82	71	117	164.8%	
	ワカメ 注2	52	75	31	32	15	46.9%	
		13	18	8	9	4	44.4%	
	カキ	42	64	51	45	39	86.7%	
		35	58	46	40	55	137.5%	
沖 合 漁 業	生産量（トン）		5,831	4,217	5,193	4,344	5,391	124.1%
	生産額（百万円）		1,037	930	1,006	818	1,174	143.5%
	サバ	4,186	1,981	3,258	2,279	3,378	148.2%	
		423	225	327	234	460	196.6%	
	アジ	1,314	1,865	1,513	1,686	1,402	83.2%	
		289	416	347	295	453	153.6%	
	その他	331	371	422	379	611	161.2%	
		325	289	332	289	261	90.3%	

注1 生ノリの重量

注2 生ワカメの重量

※ R5年は速報

沿岸	R5年 生産量上位5種	(1) タイ	(2) ブリ	(3) サワラ	(4) ノリ	(5) イカ
	R5年 生産額上位5種	(1) タイ	(2) サワラ	(3) ブリ	(4) イカ	(5) ノリ

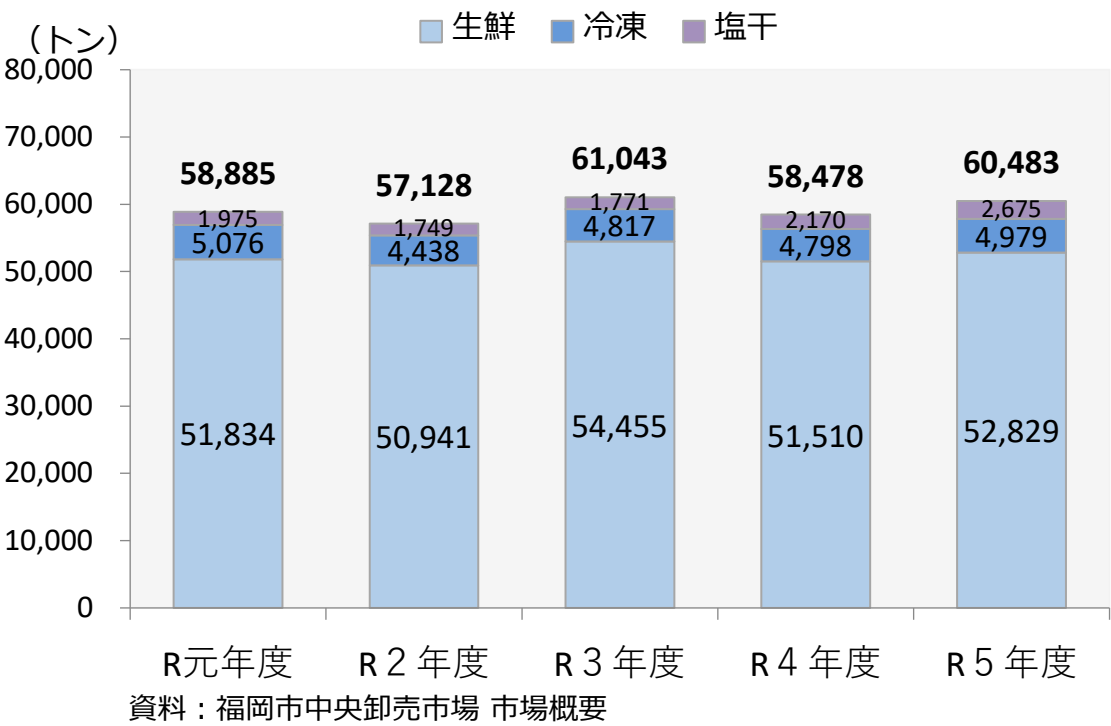
沖合	R5年 生産量上位3種	(1) サバ	(2) アジ	(3) マグロ
	R5年 生産額上位3種	(1) サバ	(2) アジ	(3) マグロ

4. 中央卸売市場の概況

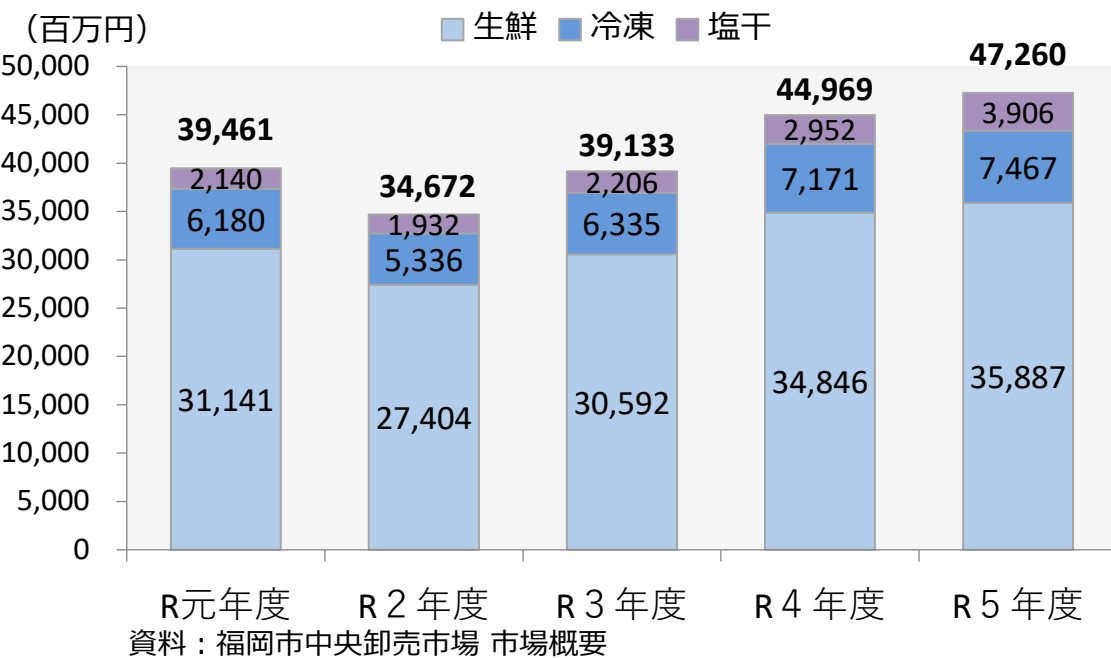
- 鮮魚市場 取扱数量（対前年度比3.4%増）
取扱金額（対前年度比5.1%増）ともに増加している。
- 青果市場 取扱数量（対前年度比1.0%増）
取扱金額（対前年度比4.3%増）ともに増加している。
- 食肉市場 取扱数量（対前年度比2.6%減）
取扱金額（対前年度比3.4%減）ともに減少している。

（1）鮮魚市場

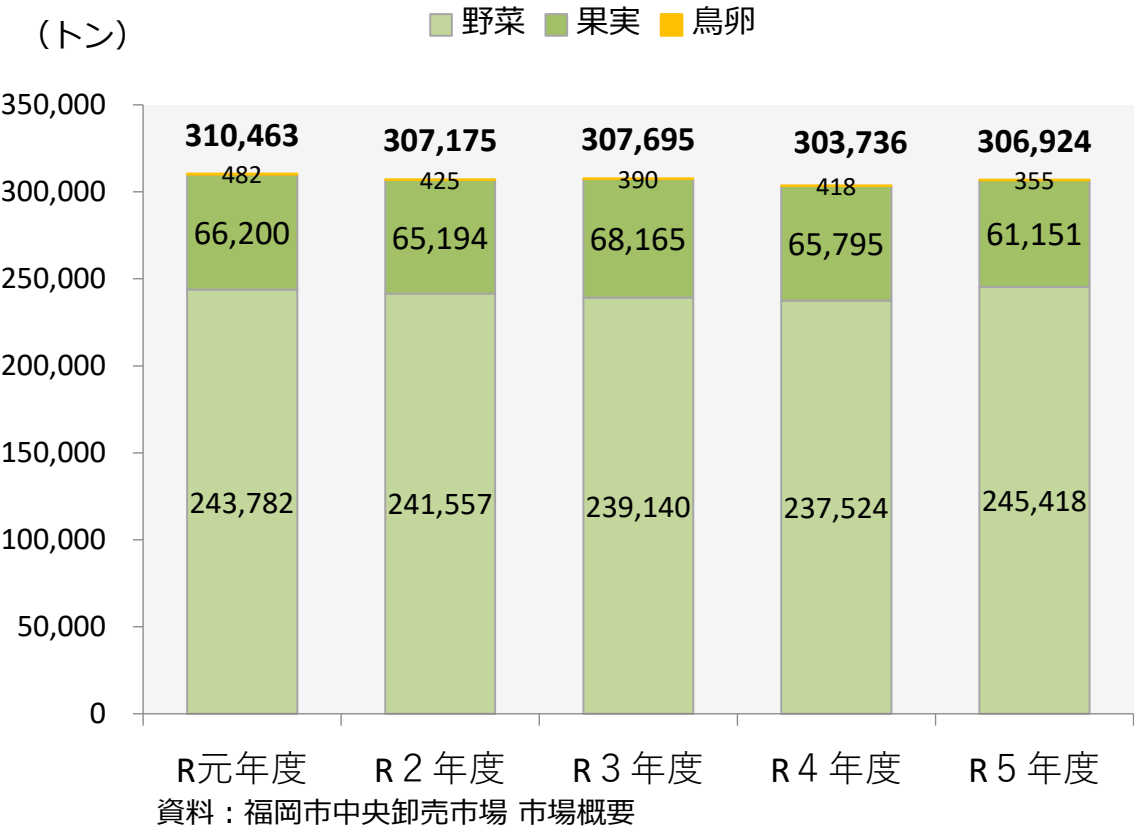
<取扱数量>



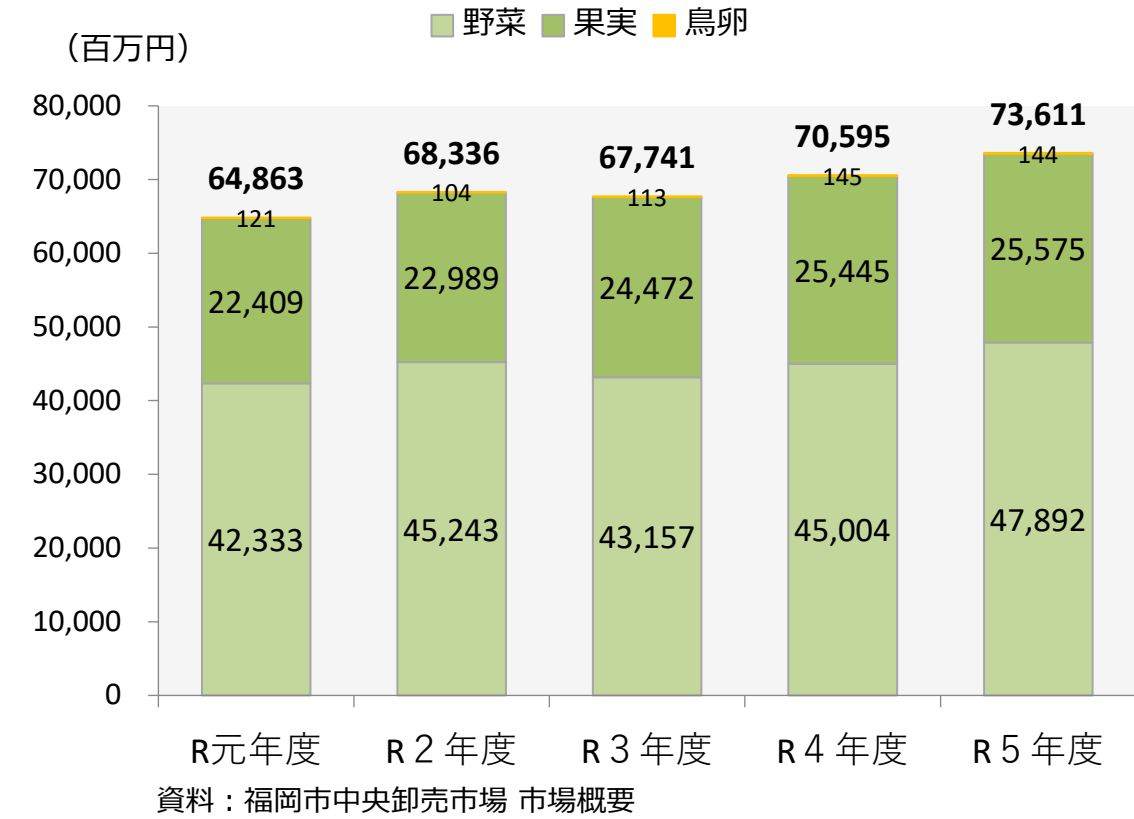
<取扱金額>



(2) 青果市場
 <取扱数量>

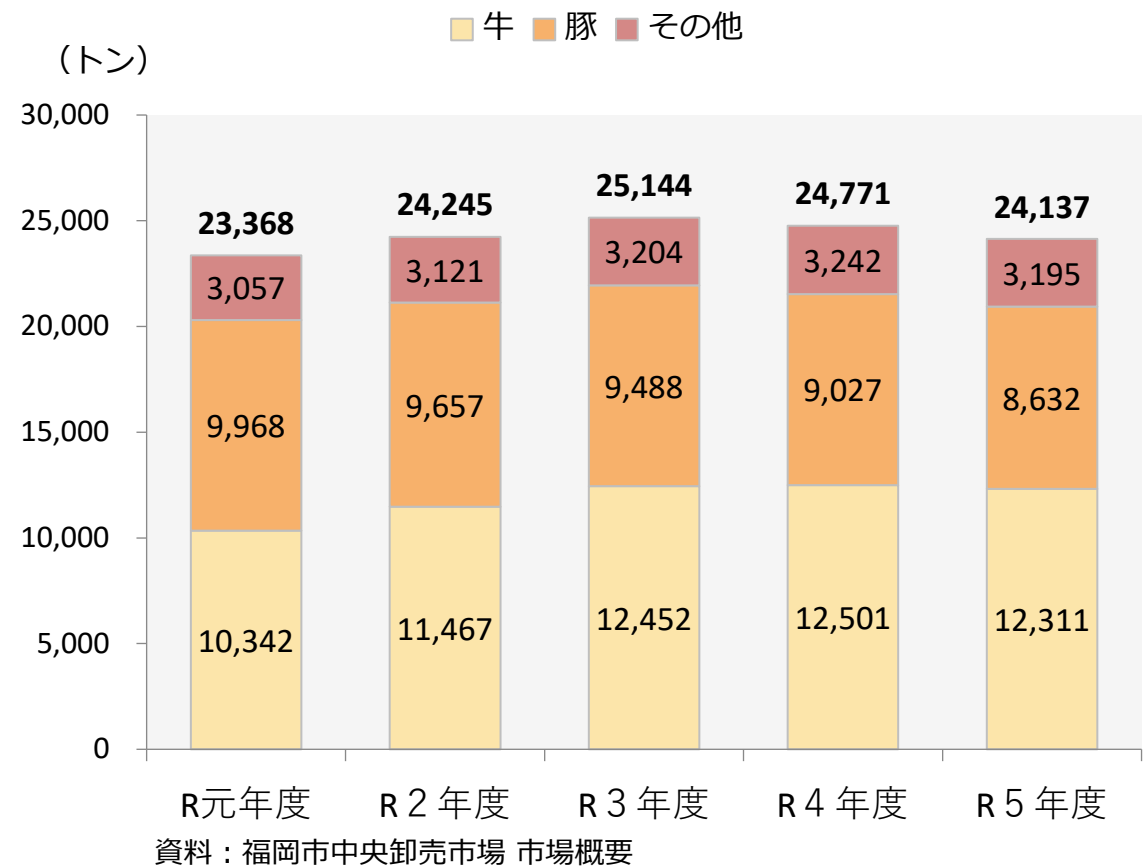


<取扱金額>

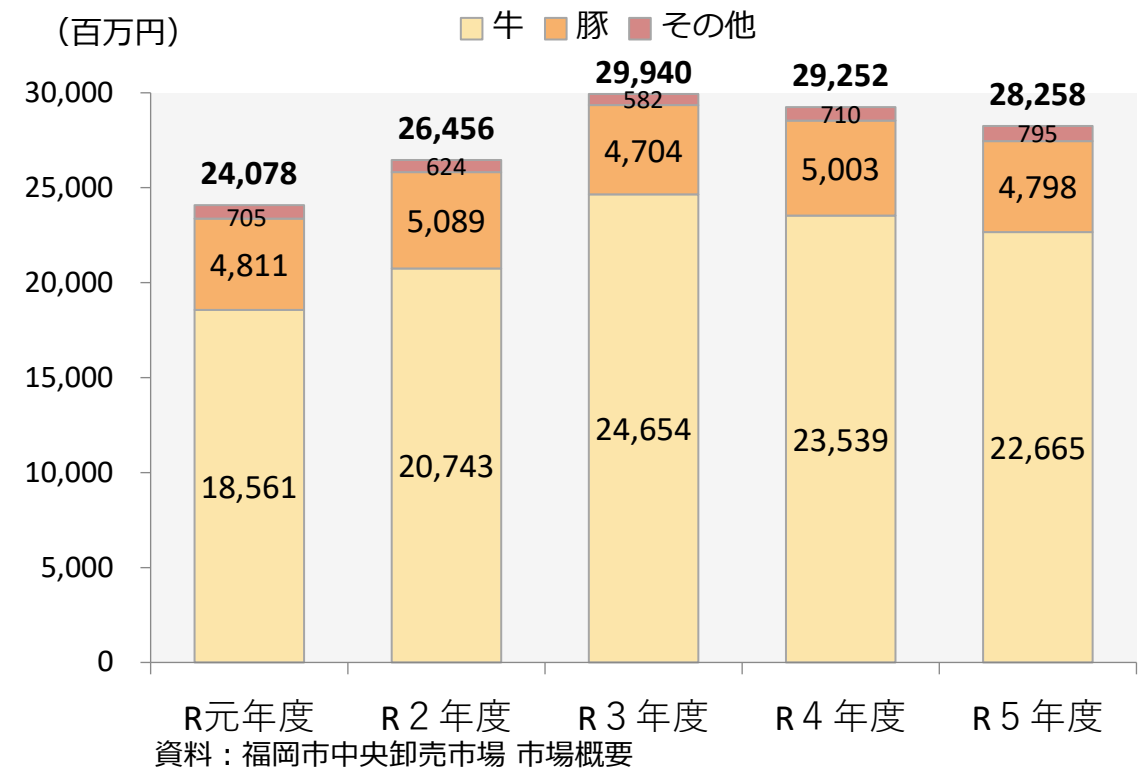


(3) 食肉市場

<取扱数量>

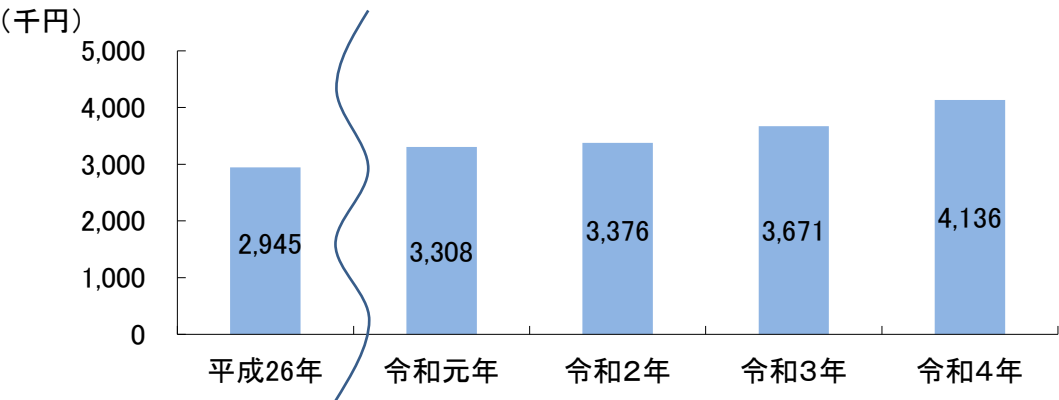


<取扱金額>



【参 考】

(1) 専業農家の一戸あたりの平均農業所得



令和 5 年度福岡市農家所得調査（専兼別） (単位：千円)

区分	専業農家	第 1 種兼業農家	第 2 種兼業農家
令和 4 年平均農業所得	4,136	2,598	291

※調査対象：福岡市農業協同組合の組合員世帯3,441戸（回答数361戸）

<参考>

令和 5 年度組合員実態調査のまとめ（JA福岡市）

区分	専業農家	第 1 種兼業農家	第 2 種兼業農家	備考
平均世帯人員 (人)	3.9	3.6	3.0	令和 5 年度農家の実態調査のまとめ（JA福岡市）を 基に算出
一戸当たりの 農地耕作面積 (a)	168.2	172.5	30.6	「農地耕作面積」は畦畔を含まない面積で、栽培面 積(作付作物あり)と管理面積(作付作物なし)の合計

※令和5年8月1日時点

(2) 沿岸漁業の一戸あたりの平均漁労所得

福岡市漁労所得調査 (単位：千円)

区分	平成27年	令和 2 年
平均漁労収入	5,070	4,478
平均漁労支出	2,633	2,249
平均漁労所得	2,437	2,229

※令和 2 年調査対象：福岡市漁業協同組合388戸（回答数368戸）